

令和7年度 シラバス

教 科	家庭	学科・学年	生産科学科 第1学年	単位数	2単位
		教 科 書	高等学校 家庭総合 持続可能な未来をつくる (第一学習社)		
科 目	家庭総合	副 教 材	家庭科ノート		
科目の目標	(1) 生活を主体的に営むために必要な科学的理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付ける。 (2) 生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、生涯を見通して課題を解決する力を養う。 (3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向け、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。				
評価の観点	知識・技術【知】		思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【主】	
趣 旨	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。		生涯を見通して、家庭や地域社会における生活の中から問題を見だし、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを理論的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、地域社会に参画しようとしたりするとともに、生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	

学	学習内容	学習活動・学習のねらい	評価の観点			評価規準	評価方法
			知	思	主		
一 学 期	1章 これからの生き方と家族 1 生涯の生活設計 2 家族・家庭と社会のかかわり		○			・生涯発達の視点から各ライフステージの特徴と課題、自立や男女平等と協力、意思決定の重要性について理解を深めている。	ペーパーテスト ワークシート
	6章 衣生活をつくる 1 人の一生と被服 2 被服材料の管理 3 これからの衣生活 ○夏休み課題 (ホームプロジェクトの実施)			○		・家族・家庭の意義や社会の関わり、取り巻く社会の変化について問題点と課題を設定している。	
					○	・家庭や地域のよりよい生活を創造するために、責任を持って行動することや、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性を考察するとともに実践しようとしている。	
二 学 期	○ホームプロジェクトの発表 4 被服の製作 (エプロン、三角巾、巾着袋)		○			・衣生活を取り巻く課題、世界の衣文化など、被服と人との関わりについて理解を深めている。	ペーパーテスト 記録用紙
	7章 住生活をつくる 1 人の一生と住まい 2 住生活の計画と選択			○		・健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理について考え、工夫している。	ワークシート 被服実習
					○	・主体的に衣生活を営むことができるよう目的や個性に応じた健康で快適、機能的な着装や日本の衣文化の継承・創造について考察し、取り組もうとしている。	
三 学 期	2章 次世代をはぐくむ 1 子どもの発達 2 子どもの生活 3 子育て支援と福祉		○			・乳幼児の心身の発達と生活、遊び、親の役割と保育、子育て支援、消費生活の現状と課題について理解を深めている。	ペーパーテスト 記録用紙
	8章 経済生活をつくる 1 私たちの暮らしと経済 2 消費者問題を考える 3 持続可能な社会をめざして			○		・親や家族、地域や社会の果たす役割を考察し、子どもとの適切な関わり方を考え、工夫している。	ワークシート
					○	・子どもを生み育てることの意義や保育の重要性について考え、また、自立した消費者として課題の解決に主体的に取り組もうとしている。	